

シンポジウム

学生と市民のための大学づくり

—政府の大学政策に抗して—



政府・文科省は高等教育に競争政策を持ち込み、基盤的経費削減と学費値上げ容認の一方で、財界などの要求する重点研究・教育を行う少数の大学に資金を分厚く配分し、防衛省資金が軍学共同に浸透し始めてもいます。

多くの大学で研究・教育条件が劣悪化するなか、人文社会系や教育系学部の廃止・縮小を求める政策によって学問の自由が踏みにじられています。

日本の、国による公的奨学金制度はその名に値しない教育ローンと呼ぶべき実態であり、学費を払えない学生の教育権を奪っています。

このような政府の大学政策に抗し、学生や市民が望む大学づくりを目指して、シンポジウムを企画しました。

講演 1: 政府の大学政策と国立大学の行方

山本健慈氏 (前和歌山大学学長)

講演 2: 日本の高学費と奨学金制度 (仮)

岡村 稔氏 (奨学金の会事務局次長)

2016年3月21日(月・振替休日)

13:30~17:00

中央大学後楽園キャンパス

5233号教室

アクセス 東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園駅」
徒歩約5分 / 都営三田線・大江戸線
「春日駅」徒歩約5分 / JR 総武線「水道橋駅」徒歩約12分

正門か東門から入校を。案内掲示あり。

参加費(資料代)500円



主催

日本科学者会議、平和と民主主義のための研究団体連絡会議、全国大学高専教職員組合、全国大学院生協議会、東京地区大学教職員組合協議会、首都圏大学非常勤講師組合 (予定を含む。追加の可能性あり)